

令和6年5月31日（金）
都市センターホテル コスモスホール
（オンライン併用）

全国医学部長病院長会議
令和6年度定例社員総会
議 事 録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
令和6年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和6年5月31日(金) 13時00分～17時30分
2. 開催場所 東京都千代田区平河町2-4-1
都市センターホテル コスモスホール
3. 会員(社員)総数 164名
4. 出席会員(社員) 164名(うち委任状出席 15名。
また、48名はWEB会議システムによる出席)
5. 出席理事 横手幸太郎、松村 到、畠山鎮次、石井直人、種市 洋、小風 暁、木村 宏、
笠井謙次、夜久 均、細井裕司、赤司浩一、菱川善隆、袴田健一、松本守雄、
澤村成史、富田善彦、眞庭謙昌、武中篤、香美祥二、田中文啓、三股浩光、
寺内康夫、篠田晃、蒲田敏文、降幡睦夫
(以上30名中25名出席。うち、種市 洋、赤司浩一、袴田健一、澤村成史、
眞庭謙昌、武中 篤、田中文啓、蒲田敏文、降幡睦夫の9名は、WEB 会議システムによる出席。)
6. 出席監事 新井 一、稲垣暢也(稲垣監事はWEB 会議システムによる参加)
7. 議 長 会長 横手幸太郎
8. 議事録作成者 会長 横手幸太郎
9. 議事の経過の要領及びその結果

上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 横手 幸太郎 は 定款の規定により議長席に着き開会を宣し、WEB 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

[会長報告]

会長から、前回の令和5年5月26日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告があった。

[確認事項]

前回の令和5年5月26日日定例社員総会議事録の確認が行われた。

[報告事項]

報告1：令和5年度事業報告について

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、4月26日開催の理事会において承認された、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）における本会議の事業状況について、別紙に基づき詳細に報告を行った。

[審議事項]

第1号議案 令和5年度収支決算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）における本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 稲垣暢也と新井 一は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第2号議案 令和6年度事業計画承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第3号議案 令和6年度収支予算承認の件

議長の指示に基づき、事務局長 横山直樹が、本会議の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第4号議案 役員を選任について

議長は、定款の規定により理事及び監事の全員が本社員総会終結をもって任期満了となるため、その改選につき別紙のとおり選任したい旨の説明があった。

議長がこれを議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

就任理事	渡辺 敦、	西川祐司、	佐々木真理、	土谷順彦、	平松祐司、
	麻生好正、	齋藤 繁、	三木隆司、	南學正臣、	東田修二、
	池田隆徳、	相良博典、	河野博隆、	高相晶士、	林 篤志、
	岩淵邦芳、	今野弘之、	間瀬光人、	田中俊宏、	熊ノ郷 淳、
	鶴田大輔、	池内浩基、	石原俊治、	永井 敦、	栗井和夫、
	門脇則光、	野口 満、	石竹達也、	池松和哉、	平井俊範

重任監事 新井 一

就任監事 富澤一仁

[講演会]

- (1) これからの大規模災害に備えて /日本医師会 松本 吉郎 会長
- (2) 医学教育の現状と課題 /文部科学省高等教育局医学教育課 俵 幸嗣 課長
- (3) 医療制度の最近の動向について /厚生労働省医政局総務課 姫野 泰啓 課長

[委員会報告事項]

以下の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

- (1) 医学教育委員会 /南學 正臣 委員長
共用試験検討委員会/佐藤 慎哉 委員長

令和5年5月に厚生労働省、文部科学省、医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）に対して要望書を提出しているが、6月に実施した公的化された共用試験実施に関する準備状況調査の結果をもとに検討し、令和6年3月27日に再度要望書を提出した旨の報告があった。要望内容の、1.評価者の配置基準について、2.外部評価者の派遣について、3.認定評価者講習会について、4.OSCEの課題数について、5.模擬患者の確保について、6.共用試験の実施にあたる人件費などの支援について、7.CBT用のコンピュータ（PC）の確保について説明があり、今後もCATOと協調し、より良い試験制度となるように現状の把握や課題について検討していく旨が示された。

- (2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会/東田 修二 委員長

令和5年度は、医学部入試の多様性に焦点をあてて課題検討するため調査を実施し、令和6年3月に会員へ結果を提供した旨の報告があった。

- (3) 専門医に関するワーキンググループ/古川 博之 座長

令和5年10月に日本専門医機構が公表した「専門研修制度における地域枠医師の取扱いと専門医の認定について」に対し令和6年3月27日に意見書を提出した旨の報告があった。サブスペシャリティについては専門医機構により3つのカテゴリーに分類され制度設計が見直されたが、複数の基本領域が関連する学会については引き続き議論がなされている、シーリングについては専門医機構により5年間の効果を検証する調査が行われている、臨床研究医コースについては応募が少ないことに対して研修要件の見直しが行われていることについて説明があった。

- (4) 研究・医学部大学院のあり方検討委員会/熊ノ郷 淳 委員長

令和6年2月29日に横手会長から厚生労働省と文部科学省に研究人材育成に関わる要望を提出した旨の報告があった。また、委員が所属する12大学を対象に、学部教育と大学院の現状に関する調査と研究者主導臨床研究の支援における間接経費の取り扱いに関する調査を実施した旨の報告があった。

- (5) 動物実験検討委員会/木村 宏 委員長

動物愛護管理法の改正時期が近付いているため、動物実験認証評価の制度化等について検討し

ている旨の報告があった。

(6) 大学病院の医療に関する委員会・DPC（包括評価支払制度）に関するワーキンググループ

／富田 善彦 委員長

診療報酬改定に向けた大学病院の現状と課題について、厚生労働省の担当者も含めた意見交換を実施し、令和5年7月に厚生労働省に「令和6年度診療報酬改定に関する重点要望事項」を提出した旨の報告があった。今後は令和6年度診療報酬改定の大学病院への影響について精査していきたい旨の説明があった。

(7) 経営実態・労働環境ワーキンググループ／相良 博典 座長

2年に1回、診療報酬改定の中間年に実施している大学病院経営実態調査を昨年実施し、本年2月に報告書を発刊した旨の報告があった。

(8) 臨床研究・利益相反検討委員会／寺内 康夫 委員長

製薬企業が関与する講演会等で企業側がスライドをチェックする件について厚生労働省や日本製薬工業協会と複数回の意見交換を行った旨の報告があった。また、AJMCの臨床研究およびCOIに関する各種ガイドラインの見直しや製薬企業からの奨学寄附金に関する現状把握等を今後行っていきたい旨の説明があった。

(9) 男女共同参画推進委員会／唐澤 久美子 委員長

新型コロナウイルス感染症と働き方改革に伴う男女共同参画推進環境の変化の実態について、令和4年度から5年度にかけて調査を行った旨の報告があった。また、それを基にした提言の、1.男女共同参画の必要性の認識と推進、2.医師としての活躍を支援する社会基盤の充実、3.働き方改革の推進による長時間労働の是正と業務内容の効率化、4.責務に見合った経済的基盤について説明があった。

(10) 広報委員会／金井 隆典 委員長

AJMC ホームページの改修を行った旨の報告があった。また、昨年11月と本年4月の理事会終了後に記者会見を開催、5月に広報誌を発刊した旨の報告があった。

(11) 被災地医療支援委員会／松村 到 委員長

今年1月の能登半島地震について、被災地の大学病院への支援の必要性について調査を行い、各組織とも情報共有を行ったが具体的な要請はなかった旨の報告があった。本委員会の位置づけ、役割分担、連絡手順についてさらに協議を進めたい考えが示された。

(12) 新型コロナウイルス（COVID-19）に関わる課題対応委員会／瀬戸 泰之 委員長

令和6年3月末で診療報酬の特例措置が終了し、厚生労働省のアドバイザー・ボードも廃止になったことを受け、4月26日理事会において本委員会の廃止が決まった旨の報告があった。

(13) 医師の働き方改革検討委員会／馬場 秀夫 委員長

本年1月に四病院団体協議会と合同で調査した医師の働き方改革に関する状況調査の結果について説明があり、また4月の施行後の状況や課題についても調査中である旨の報告があった。

(14) 医学部・医科大学の白書調査委員会／羽瀧 友則 委員長

2年に1度実施している白書調査を今年度に予定している旨の説明があった。

(15) カリキュラム調査委員会／伊野 美幸 委員長

令和5年度にカリキュラム調査を実施し報告書にとりまとめ、冊子は6月上旬に発刊する旨の報告があった。

(16) 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会／大屋 祐輔 委員長

文部科学省の事業により、地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査と意見交換会の内容を報告書にまとめ文科省に提出した旨の報告があった。意見交換会は3年ぶりに対面で実施された。研修医に関する実態調査については令和3・4年分の報告書を本年1月に発刊し、令和5年度以降の調査については現在検討中である旨の説明があった。

(17) 患者安全推進委員会／坂本 哲也 委員長

令和5年度に実施した医療事故調査制度に関するアンケート調査の結果について説明があった。

〔地区部会報告 提案議題〕

(1) 公的化された共用試験の運営について

／近畿地区（説明者：近畿大学 松村 到 学長・医学部長）

(2) 共用試験 OSCE における模擬患者の確保について

／九州地区（説明者：宮崎大学 菱川 善隆 医学部長）

(3) 医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）臨床実習への対応について

／東北・北海道地区（説明者：札幌医科大学 齋藤 豪 医学部長）

(4) アンプロフェッショナルな行動をとる学生の評価、対応について

／東北・北海道地区（説明者：福島県立医科大学 藤森 敬也 医学部長）

(5) 病院経営改善に向けた取組について

／東北・北海道地区（説明者：札幌医科大学 渡辺 敦 病院長）

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和6年5月31日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

権守孝二印

